



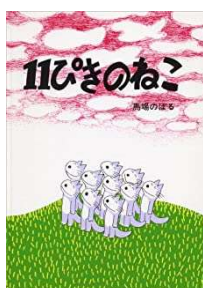
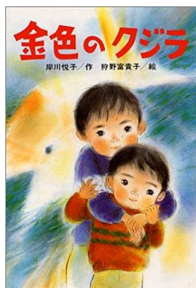
～読書の秋～



秋といえば、「読書の秋」と答える方も多いと思います。なぜ「読書の秋」と言われるのかというと、秋は、夏に比べて、涼しく過ごしやすい夜が長くなるため、読書するには、最適な季節だと言われているからです。子どもの頃から本を読む事で、成長しても本を読む事に抵抗がなくなります。幼少期への読み聞かせは、子どもの人格形成に多大なる影響を及ぼします。絵本を読み聞かせる事で、子どもの想像力が育ち、子どもが登場人物の立場に立つ事で、喜怒哀楽を感じ取り、人の気持ちが分かる子どもになります。また、文字や言葉の習慣が高まり、本に夢中になる事で、自然と集中力が身につきます。読書を通じて、子どもの心を豊かに育てることができます。

絵本を読み聞かせる場合には、大人が少し遅いかな？と思うスピードで、読み聞かせてあげましょう。また、せっかくの親子の触れ合いの時間なので、子どもと会話しながら、絵本を読んであげると良いでしょう。例えば、「こんなことされたらどう思う？」「なんで、こんなことをしたのかな？」など、子どもに聞いてあげる事で、登場人物の感情や、その時の気持などを、子どもが理解し、子どもの感情が豊かになります。「読書の秋」に、子ども達に読み聞かせをしてみませんか？

<おすすめの本>



[完全保存版] 永遠の名作絵本200冊ガイド

ちいさなうさぎちゃん
ムーミン
ぐりとぐら
はらぺこあおむし
スイミー
もこもこ
きんぎょが にげた
いないいないばあ
ねないこ だれた
まりのなかの サーカス
からすのパンやさん
だるまさんが

BRUTUS
Casa
MAGAZINE HOUSE MOOK Extra Issue
カーサ ブルータス特別編集

読み継ぐべき
絵本の名作 200